

帝人株式会社 ■ コーポレートコミュニケーション部

●東京本社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館

TEL.03-3506-4055 FAX.03-3506-4150

●大阪本社 〒530-8605 大阪市北区中之島3丁目2番4号 中之島フェスティバルタワー・ウエスト

TEL.06-6233-3413 FAX.06-6233-5040

●URL <https://www.teijin.co.jp>

2025年9月1日

2025 ブリヂストン・ワールド・ソーラー・チャレンジ ティジン・アラミド B.V.が支援するブルネル・ソーラーチームが優勝

帝人グループのティジン・アラミド B.V.（本社：オランダ・アーネム市）が支援しているオランダ・デルフト工科大学のブルネル・ソーラーチームが、2025年8月24日から31日に開催されたブリヂストン・ワールド・ソーラー・チャレンジ（以下、BWSC）において、オーストラリア大陸の約3,000 kmを縦断するチャレンジャークラスで優勝しました。

BWSCは「最もサステナブルなEV」とされるソーラーカーの開発など、技術革新やモビリティの進化へ向けて世界中の若きエンジニアをインスパイアし、挑戦を後押しするイベントです。同チームが開発した「Nuna 13」にはブリヂストン製ソーラーカータイヤが装着されており、そのベルト層には、ティジン・アラミドが新たに開発したパラ系アラミド繊維「トワロン ネクスト」が補強材として採用されました。「トワロン ネクスト」は、サーキュラー原料を含む持続可能な高性能素材であり、今回のBWSCが自動車分野における初の実用化事例となります。

「Nuna 13」はわずか160kgの軽量設計で、車内の運転席周辺には「トワロン」製の生地を用いた難燃性保護シートが設置されており、強度、熱安定性および軽量化による安全性の向上に貢献しています。また、ブランドメッセージ「Materializing ambitions」を掲げるティジン・アラミドは、ブルネル・ソーラーチームの挑戦に共感し、その支援の一環として「Nuna 13」開発の舞台裏を追ったドキュメンタリー動画『Building Nuna』を公開しました。



© Brunel Solar Team - Hans-Peter van Velthoven

『Building Nuna』の視聴はこちら：[Building Nuna - Teijin Aramid - JP](#)

帝人グループは今後も持続可能な循環型社会の実現に向けて顧客からの高い品質要求に応えられるよう、製品のさらなる品質改善の追及を続けることにより、長期ビジョンである「未来の社会を支える会社」となることを目指します。

以 上

【 報道関係のお問合せ先 】

帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL: (03) 3506-4055

【 当件に関するお問合せ先 】

帝人株式会社 アラミド事業本部 日本営業統轄 TEL: (03) 3506-4628